## 令和7年度 富山県立雄峰高等学校 学校アクションプラン 達成目標

重点課題 会和7年度達成目標 次下総比本年度変更 令和6年度達成目標 次下総比本年度変更 令和7年度達成目標 次下総比本年度変更 令和6年度達成目標 次下総比本年度変更 常知 (原制制 (前期末集計) (前期末集計) (前期末集計) (1 通信制) (前期末集計) (1 通信制) (前期末集計) (1 通信制) (前期末集計) (1 60%以上 (1 學攻科) (学年末集計) (1 00% (1 例							
ではいいいけらればない。   ではいいいにはいいいにはいいいにはいいいにはいいいにはいいいにはいいいにはいい		重点項目 重点課題	令和7年度達成目標 ※下線は本年度変更	令和6年度達成目標	令和6年度達成結果	R 6 評価	
確立と単位   (価信制] (前期末集計)	1		【定時制】(前期末集計)	【定時制】(前期末集計)	【定時制】(前期末集計)	В	
【専攻科】(学年末集計) 100%   【専攻科】(学年末集計) 100%   100%		確立と単位		【通信制】(前期末集計)	【通信制】(前期末集計)		
記書習慣の 定着		₩ 77 Y Z	【専攻科】(学年末集計) 100%	【専攻科】(学年末集計) 100%	【専攻科】(学年末集計) 98%		
図書館の利用が増えたと	2	読書習慣の			用した生徒の数 【昼間】38.9%【夜間】50%	С	
1		定着			図書館の利用が増えたと 答えた生徒		
世徒の自律 性・主体性 の増加 名課程の様々な教育活動 の場面や学園祭等の学校 行事において、自律的な 行動が意識的に行われ、 生徒が成功体験を通して 自己肯定感をより高める こと 教員向けの研修金の実施 年2回		W 11 11 mm			【通信】50%		
の向上 の場面や学園祭等の学校 行事において、自律的な 行事において、自律的な 行事が意識的に行われ、 生徒が成功体験を通して 自己肯定感をより高める こと な生徒指導を行うこと ができた。 4 学校生活 変合 生色の研修会の実施 年2回 SCによる生徒向けの講演会 年2回 SCによる生徒向けの講演会 年2回 SCによる生徒向けの講演会 年2回 SCによる生徒向けの講演会 年2回 SCによる生徒の制会は 約30%にとどまった。就 寝時刻が早まった生徒は 多く、睡眠時間は長くなったものの、毎日ぐっすり眠れている生徒の割合が減った。 年度末での進路先決定率 90%以上 ・就職: 志望が明確で就 職活動を行う生徒を対 象とする。 ・進学:第一志望に限定 しない。 学園祭に参加した生徒の 満足度 生徒が主体 となる自主 的な特別活 動の推進 学施 タッグ・以上 生徒の主体的な地域交 流、ボランティア活動を 実施 年度末での進路失いで 学園祭に参加した生徒の 満足度 1.9% は交流活動や環境保全 流、ボランティア活動を 実施 原本では 東佐の主体のな地域交 流、ボランティア活動を 実施 原本では 東佐の主体的な地域交 流、ボランティア活動を 実施 原本では 東佐の主体のな地域交 流、ボランティア活動を 実施 原本では 中本では 中本では 大き かな かりに 大き かいな かりに 大き かいな かりに	3	生徒の自律	己肯定感を獲得する生徒 の増加	己肯定感を獲得する生徒 の増加	いて、生徒実行委員会を 中心に計画的に準備し、	A	
生徒が成功体験を通して自己肯定感をより高めること         生徒が成功体験を通して自己肯定感をより高めること         の抑止に向けて積極的な生徒指導を行うことができた。           4 学校生活			の場面や学園祭等の学校 行事において、自律的な	の場面や学園祭等の学校 行事において、自律的な	協力して取り組んでいた。		
中の健康         年2回 SCによる生徒向けの講演会         (睡眠の改善) 70%以上         12月の調査で、7月と比較して睡眠が改善したと感じている生徒の割合は約30%にとどまった。就寝時刻が早まった生徒は多く、睡眠時間は長くなったものの、毎日ぐっすり眠れている生徒の割合が減った。           5 進路支援 遊路実現をめざす支援が活動を行う生徒を対象とする。・進学:第一志望に限定しない。         年度末での進路先決定率90%以上 ・就職: 志望が明確で就職活動を行う生徒を対象とする。・進学:第一志望に限定しない。         年度末での進路先決定率(令和7年3月18日現在) 3課程平均90.8% 昼間 100% 夜間 100% 夜間 100%         C           6 特別活動 生徒が主体となる自主的な特別活動の推進         学園祭に参加した生徒の清足度 第5%以上 生徒の主体的な地域交流、ボランティア活動を実施         学園祭に参加した生徒の満足度         本           6 特別活動の推進         学園祭に参加した生徒の主体的な地域交流に表示した生徒の流足度         第26         中域交流活動や環境保全活動に年間を通じて参加を実施			生徒が成功体験を通して 自己肯定感をより高める	生徒が成功体験を通して 自己肯定感をより高める	の抑止に向けて積極的 な生徒指導を行うこと		
# 2回 約30%にとどまった。就寝時刻が早まった生徒は多く、睡眠時間は長くなったものの、毎日ぐっすり眠れている生徒の割合が減った。    5 進路支援   年度末での進路先決定率90%以上   ・就職: 志望が明確で就職活動を行う生徒を対象とする。   ・進学:第一志望に限定しない。   ・	4		年2回	(睡眠の改善)	12月の調査で、7月と比 較して睡眠が改善したと	С	
大きな   100%					約30%にとどまった。就		
## 20%以上					ったものの、毎日ぐっす り眠れている生徒の割合		
めざす支援 活動職活動を行う生徒を対象とする。 ・進学:第一志望に限定しない。職活動を行う生徒を対象とする。 象とする。 ・進学:第一志望に限定しない。昼間 100% 通信制 76.7% (専攻科 90.0%)6 特別活動学園祭に参加した生徒の満足度 満足度学園祭に参加した生徒の満足度 満足度学園祭に参加した生徒の満足度 満足度本生徒が主体となる自主的な特別活動の特別活動の推進生徒の主体的な地域交流活動や環境保全流、ボランティア活動を流、ボランティア活動を実施地域交流活動や環境保全活動に年間を通じて参加 活動に年間を通じて参加 年8回	5		90%以上	90%以上	(令和7年3月18日現在)	С	
6特別活動学園祭に参加した生徒の 満足度学園祭に参加した生徒の 満足度学園祭に参加した生徒の 満足度A生徒が主体 となる自主 的な特別活 動の推進90%以上 生徒の主体的な地域交 流、ボランティア活動を 実施85%以上 生徒の主体的な地域交 流、ボランティア活動を 流、ボランティア活動を 実施り1.9% 地域交流活動や環境保全 活動に年間を通じて参加 年8回		めざす支援	職活動を行う生徒を対 象とする。 ・進学:第一志望に限定	職活動を行う生徒を対 象とする。 ・進学:第一志望に限定	昼間 100% 夜間 100% 通信制 76.7%		
となる自主 生徒の主体的な地域交 生徒の主体的な地域交 地域交流活動や環境保全 的な特別活 流、ボランティア活動を 流、ボランティア活動を 活動に年間を通じて参加 動の推進 実施 実施 年8回	6		学園祭に参加した生徒の 満足度	学園祭に参加した生徒の 満足度	学園祭に参加した生徒の 満足度	А	
年 <u>6</u> 回以上 年5回以上		となる自主 的な特別活	生徒の主体的な地域交 流、ボランティア活動を	生徒の主体的な地域交 流、ボランティア活動を	地域交流活動や環境保全 活動に年間を通じて参加		
			年 <u>6</u> 回以上	年5回以上			

(評価基準 A:達成した B:ほぼ達成した C:現状維持 D:現状より悪くなった)